

現 勢



東消防署はしご付消防自動車(令和2年度更新)

概 要

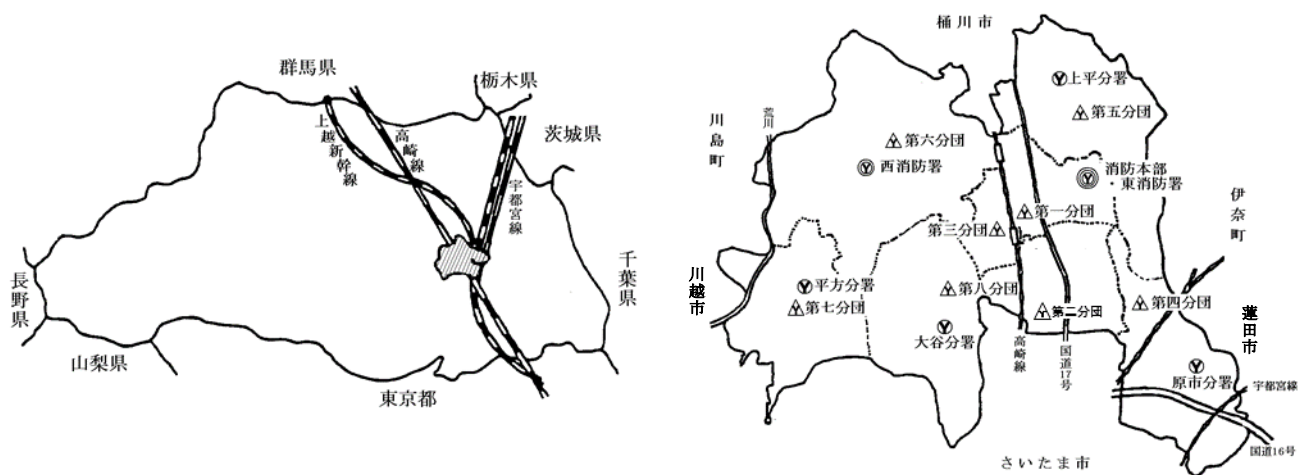
上尾市の概要と位置

上尾市は首都東京から35kmの距離にあり、埼玉県南東部に位置しています。東は伊奈町と蓮田市に、南はさいたま市に、西は川越市と川島町に、北は桶川市と隣接しています。

昭和30年1月1日、上尾町、平方町、原市町、大石村、上平村、大谷村の3町3村が合併して上尾町となり、3年後の昭和33年7月15日の市制施行で上尾市が誕生しました。当時、人口は約3万7千人でしたが、地理的条件の良さに国の高度経済成長政策も加わり、田園都市から工業都市、そして住宅都市へと変わりました。

平成30年に市制施行60周年を迎え、人口は23万人を超えています。

位 置



(令和4年4月1日現在)

面積	広 ぼ う	海 抜	経 緯 度	人 口	世 帯 数
45.51 k m ²	東西 10.48 k m 南北 9.32 k m	15.4m	東経 139° 35' 37" 北緯 35° 58' 38"	230,385 人	105,771 世帯

消 防 予 算

令和4年度の当市一般会計当初予算は、696億3,000万円で、このうち、
消防予算は27億2,855万円であり、構成比率は3.9%となっています。

令和4年度一般会計歳出当初予算及び構成比

(単位：千円)

議 会 費	432,212	0.6%
総 務 費	6,498,037	9.3%
民 生 費	37,390,017	53.7%
衛 生 費	5,689,169	8.2%
農林水産業費	165,009	0.2%
商 工 費	461,051	0.7%
土 木 費	3,872,892	5.6%
消 防 費	2,728,552	3.9%
1目 常備消防費	2,356,594	—
2目 非常備消防費	25,075	—
3目 消防施設費	346,883	—
教 育 費	5,642,236	8.1%
災 害 復 旧 費	3	0%
公 債 費	6,670,822	9.6%
予 備 費	80,000	0.1%
合 計	69,630,000	100.0%

市決算と消防決算の推移

(単位：千円)

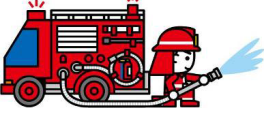







年度別 区分	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
市一般会計決算	61,146,034	60,048,138	63,221,403	88,553,669	75,496,989
消防費決算額	2,493,349	2,512,000	2,584,312	2,760,495	2,838,292
消防費の割合	4.07%	4.18%	4.09%	3.11%	3.75%
常備消防費	2,245,076	2,258,897	2,316,319	2,330,567	2,291,327
非常備消防費	24,286	25,348	27,596	26,207	25,464
消防施設費	223,986	227,753	240,397	403,722	521,501
消防庁舎建設費	0	0	0	0	0
消防費に係る 基準財政需要額	2,427,658	2,417,477	2,414,934	2,423,469	2,478,177

消防関係要覧《私たちの消防》

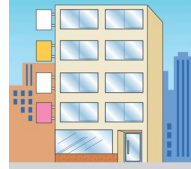

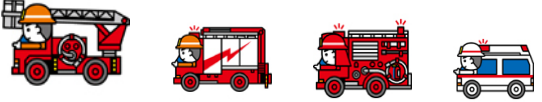
令和4年4月1日現在の統計

			
面積 45.51 km ² 人口 230,385 人 世帯 105,771 世帯	署所 消防本部 1 消防署 2 分署 4	消防職員 定数：267 名 実数：267 名	消防団員 定数：163 名 実数：132 名

令和3年の統計（1月～12月）※消防水利にあっては令和4年4月1日現在

			
火災件数 43 件 ◆8.4 日に1件 ◆2,459 世帯に1件	救急件数 10,158 件 ◆1 日に27件 ◆10 世帯に1件	救助件数 230 件 ◆1.5 日に1件 ◆459 世帯に1件	受信件数 12,817 件 ◆1 日に35件 ◆8.2 世帯に1件
			
出火原因 放火(含疑い) 12 件 こんろ 4 件 電気関係 4 件 たばこ 2 件	火災による死傷者 死者：1 名 負傷者：8 名	火災による損害 ◆損害額 57,320 千円 ◆建物焼損床面積 488 m ² ◆焼損棟数 40 棟	消防水利 3,773 基 [内訳] 防火水槽 1,444 消火栓 2,295 その他(ブール) 34

令和4年4月1日現在の統計

		
防火対象物 対象物数 5,307 うち5階以上の中高層建築物 613	危険物施設 施設数 254 [内訳] 製造所 8 貯蔵所 171 取扱所 75	消防用車両等 49 台 消防ポンプ車(水槽付含む) 11 台 はしご車 2 台 化学車 1 台 救急車 7 台 救助工作車 2 台 指揮車 1 台 非常用車両 2 台 特殊車両 11 台 消防団車両 8 台 その他の車両 4 台

～ 令和4年度の主な事業 ～

- ◆ 消防庁舎水銀灯の LED 化
- ◆ 東消防署の消防ポンプ自動車の更新
- ◆ 西消防署の資機材搬送自動車の更新
- ◆ 非常用消防ポンプ自動車の更新



消防機構図



事務分掌

消防本部

【消防総務課】

- (1) 公印の管理に関する事。
- (2) 消防団に関する事。
- (3) 消防統計に関する事。
- (4) 職員の人事、服装、給与、厚生及び教養に関する事。
- (5) 儀式、式典及び表彰に関する事。
- (6) 重要施策の企画、調査及び立案に関する事。
- (7) 消防本部及び消防署の組織に関する事。
- (8) 応援協定に関する事。
- (9) 予算及び決算に関する事。
- (10) 職員の服制に関する事。
- (11) 職員の公務災害補償に関する事。
- (12) 消防職員委員会に関する事。
- (13) 職員の安全衛生に関する事。
- (14) 消防施設の管理及び修繕に関する事。
- (15) 消防音楽隊に関する事。
- (16) 他の課に属さない事。

【予 防 課】

- (1) 火災予防の企画・広報及び指導に関する事。
- (2) 建築確認の同意に関する事。
- (3) 防火・防災管理者の指導に関する事。
- (4) 消防用設備等に関する事。
- (5) 上尾市火災予防条例に関する事。
- (6) 防火対象物の査察、調査及び改修指導に関する事。
- (7) 危険物の規制に関する事。
- (8) 液化石油ガスの事務に関する事。
- (9) 火薬類の規制に関する事。
- (10) 危険物取扱者の指導に関する事。
- (11) 消防法に規定する火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある物質の貯蔵及び取扱いに関する事。
- (12) 危険物製造所等の査察、調査及び改修指導に関する事。
- (13) 防火協力団体に関する事。
- (14) 防火対象物、危険物製造所等の違反処理に関する事。
- (15) 火災原因及び損害の調査に関する事。
- (16) り災証明に関する事。
- (17) 火災の統計に関する事。

【警 防 課】

- (1) 警防業務の企画立案及び警防計画に関すること。
- (2) 消防水利施設の設置及び管理に関すること。
- (3) 開発行為に係る事前協議に関すること。
- (4) 特殊災害に関すること。
- (5) 緊急消防援助隊及び県下応援の運用に関すること。
- (6) 鉄道災害連絡協議会に関すること。
- (7) 救助業務の企画立案に関すること。
- (8) 救急業務の企画立案に関すること。
- (9) 救急救命士及び救急隊員の教育に関すること。
- (10) 地域メディカルコントロール協議会に関すること。
- (11) 埼玉県中央地区第2次救急医療に関すること。
- (12) 救急搬送証明及び要保護者の報告に関すること。
- (13) ドクターヘリ及び災害派遣医療チーム（DMAT）に関すること。
- (14) 患者等搬送事業に関すること。
- (15) 警防・救助・救急統計に関すること。
- (16) 消防車両の取得及び管理に関すること。
- (17) 消防機械器具の取得計画及び管理に関すること。
- (18) 上尾市自警消防団運営連絡協議会に関すること。
- (19) 上尾市自警消防団運営費等補助事業に関すること。

【指 令 課】

- (1) 緊急通報の受信及び出動の指令に関すること。
- (2) 火災警報及び消防信号に関すること。
- (3) 各種災害関係情報の収集及び伝達に関すること。
- (4) 加入電話の交換業務に関すること。
- (5) 消防緊急通信指令施設の運用及び維持管理に関すること。
- (6) 気象観測業務に関すること。
- (7) 埼玉県防災情報システムに関すること。
- (8) 上尾市防災行政無線に関すること。
- (9) 上尾市・伊奈町消防通信指令事務協議会に関すること。

東消防署

【管 理 課】

- (1) 公印の管理に関すること。
- (2) 署員の教養及び訓練に関すること。
- (3) 防火指導に関すること。
- (4) 消防機械器具の改善及び研究に関すること。
- (5) 消防機械器具の整備保全及び運用に関すること。
- (6) 消防車両の整備及び運用に関すること。
- (7) 上尾市火災予防条例に関すること。
- (8) 消防本部及び消防署の連絡調整に関すること。
- (9) 事業所及び自主防災組織等の訓練指導に関すること。
- (10) 応急手当の普及啓発活動の推進に関すること。

東消防署・西消防署

【消防第一課及び消防第二課】

- (1) 水災、火災等の災害活動に関すること。
- (2) 特殊災害活動に関すること。
- (3) 救助活動に関すること。
- (4) 災害の防ぎよ及び人命救助に関すること。
- (5) 救急活動に関すること。
- (6) 緊急消防援助隊及び県下応援の活動に関すること。
- (7) 消防水利の保全調査に関すること。
- (8) 教養及び訓練の実施に関すること。
- (9) 消防訓練及び救急の指導に関すること。
- (10) 上尾市火災予防条例に関すること。
- (11) 火災予防査察及び警防調査に関すること。
- (12) 救助が困難な対象物調査に関すること。
- (13) 災害活動等に必要ない機械器具の維持管理に関すること。
- (14) 火災原因調査に関すること。
- (15) 防災体験コーナーの運営に関すること。(西消防署のみ)

【分 署】

- (1) 水災、火災等の災害活動及び人命救助に関すること。
- (2) 特殊災害活動に関すること。
- (3) 救急活動に関すること。
- (4) 消防水利の保全調査に関すること。
- (5) 教養及び訓練の実施に関すること。
- (6) 緊急消防援助隊及び県下応援の活動に関すること。
- (7) 消防訓練及び救急の指導に関すること。
- (8) 上尾市火災予防条例に関すること。
- (9) 火災予防査察及び警防調査に関すること。
- (10) 災害活動等に必要ない機械器具の維持管理に関すること。
- (11) 火災原因調査に関すること。

消 防 力

庁 舎 施 設 概 要

◎上尾市消防本部・上尾市東消防署

所 在 地	上尾市大字上尾村537番地		
T E L	048(775)1311		
開設年月日	昭和58年11月1日		
敷地面積	7,768.80㎡	建築面積	1,749.08㎡
延面積	2,659.06㎡	階 数	2階
構 造	鉄筋コンクリート造(塔屋付)		



【 上尾市消防本部・上尾市東消防署 外観 】

○上尾市東消防署 原市分署

所 在 地	上尾市大字瓦葺1139番地		
T E L	048(722)5225		
開設年月日	昭和54年4月1日		
敷地面積	1,351.39㎡	建築面積	471.03㎡
延面積	647.32㎡	階 数	2階
構 造	鉄筋コンクリート造		

○上尾市東消防署 上平分署

所 在 地	上尾市大字上1573番地1		
T E L	048(775)0119		
開設年月日	平成6年4月1日		
敷地面積	1,508.72㎡	建築面積	545.10㎡
延面積	733.40㎡	階 数	2階
構 造	鉄筋コンクリート造		

◎上尾市西消防署

所在地 上尾市中分一丁目232番地
TEL 048(725)2624
開設年月日 平成20年1月1日
敷地面積 5,019.83㎡ 建築面積 1,705.69㎡
延面積 2,284㎡
(3,607.71㎡) 大石支所・図書館大石分館を含む
階数 3階
構造 鉄骨造



【 上尾市西消防署 外観 】

○上尾市西消防署 大谷分署

所在地 上尾市大字大谷本郷908番地8
TEL 048(726)2771
開設年月日 昭和63年4月15日
敷地面積 1,891.51㎡ 建築面積 693.16㎡
延面積 676.01㎡ 階数 1階
構造 鉄筋コンクリート造

○上尾市西消防署 平方分署

所在地 上尾市大字平方1713番地1
TEL 048(782)0911
開設年月日 平成17年4月1日
敷地面積 3,422.43㎡ 建築面積 843.70㎡
延面積 794.41㎡
(1,680.48㎡) 平方支所・図書館たちばな分館
階数 2階
構造 鉄筋コンクリート造

現有車両配備状況 (令和4年4月1日現在)

所属	名称	車名	年式	登録日	使用年数	備考
本 部	総務車	トヨタ	H25年	H25. 8. 1	8年8ヶ月	リース (ハイブリッド)
	調査車	トヨタ	R03年	R03. 11. 30	0年4ヶ月	
	査察指導車	トヨタ	R01年	R01. 12. 2	2年3ヶ月	リース (ハイブリッド)
	連絡車	トヨタ	H26年	H26. 8. 1	7年8ヶ月	リース (ハイブリッド)
	警防車	トヨタ	H26年	H26. 7. 1	7年9ヶ月	リース
東 消 防 署	化学消防ポンプ自動車	日野	H22年	H22. 7. 26	11年8ヶ月	水槽 1,500ℓ、薬液 500ℓ
	水槽付消防ポンプ自動車	UDトラック	H22年	H22. 9. 24	11年6ヶ月	水槽 1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	ニッサンディーゼル	H20年	H20. 2. 28	14年1ヶ月	水槽 600ℓ、CAFS装置
	救助工作車	ニッサンディーゼル	H21年	H21. 1. 9	13年2ヶ月	小型移動式クレーン、前後ウインチ
	はしご付消防自動車	日野	R02年	R02. 9. 15	1年6ヶ月	直進式 30m、伸縮水路管
	指令車	トヨタ	H18年	H18. 9. 1	15年7ヶ月	リース
	高規格救急自動車	ニッサン	H31年	H31. 2. 21	3年1ヶ月	
	非常用高規格救急自動車	トヨタ	H28年	H28. 1. 26	6年2ヶ月	
	指揮車	トヨタ	H31年	H31. 3. 26	3年0ヶ月	
	重機搬送車	日野	H25年	H25. 3. 15	9年0ヶ月	3t級重機
防災指導車	ニッサン	H15年	H15. 9. 19	18年6ヶ月		
原 市 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	ニッサンディーゼル	H21年	H21. 12. 14	12年3ヶ月	水槽 1,300ℓ
	消防ポンプ自動車	日野	H22年	H22. 9. 1	11年7ヶ月	水槽 600ℓ
	高規格救急自動車	トヨタ	H30年	H30. 2. 2	4年1ヶ月	
	連絡車	トヨタ	H21年	H21. 3. 2	13年0ヶ月	リース
上 平 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	ニッサンディーゼル	H22年	H22. 1. 15	12年2ヶ月	水槽 1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	日野	H22年	H22. 9. 1	11年7ヶ月	水槽 600ℓ
	高規格救急自動車	トヨタ	R02年	R02. 1. 9	2年2ヶ月	
	連絡車	トヨタ	H18年	H18. 9. 1	15年7ヶ月	リース
西 消 防 署	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H27年	H27. 3. 6	7年0ヶ月	水槽 1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	いすゞ	R04年	R04. 2. 1	0年2ヶ月	
	救助工作車	ニッサンディーゼル	H19年	H19. 11. 26	14年4ヶ月	小型移動式クレーン、前後ウインチ
	屈折はしご付消防自動車	日野	H23年	H23. 3. 10	11年0ヶ月	屈折式 25m、伸縮水路管
	資機材搬送車	日野	H28年	H28. 12. 21	5年3ヶ月	
	高規格救急自動車	トヨタ	H28年	H28. 1. 26	6年2ヶ月	
	連絡車	トヨタ	H18年	H18. 9. 1	15年7ヶ月	リース
大 谷 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H30年	H30. 3. 27	4年0ヶ月	水槽 1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	日野	H24年	H24. 6. 11	9年9ヶ月	水槽 600ℓ
	高規格救急自動車	トヨタ	H28年	H28. 12. 20	5年3ヶ月	
	高規格救急自動車	トヨタ	R02年	R02. 2. 4	2年1ヶ月	
	非常用消防ポンプ自動車	ニッサンディーゼル	H18年	H18. 3. 14	16年0ヶ月	消防ポンプ自動車 水槽 500ℓ
	連絡車	トヨタ	H18年	H18. 9. 1	15年7ヶ月	リース
平 方 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	R03年	R03. 1. 20	1年2ヶ月	水槽 1,500ℓ
	高規格救急自動車	トヨタ	H27年	H27. 1. 8	7年2ヶ月	
	連絡車	トヨタ	H17年	H17. 3. 18	17年0ヶ月	4WD、ボートけん引
	ボート積載車	エスコ	S63年	H17. 7. 14	16年8ヶ月	救助艇運搬用ボートトレー【再登録】

消防用資機材保有状況

分類	所属別 資機材	東消防署	救助隊	原市分署	上平分署	西消防署	救助隊	大谷分署	平方分署	合計
		一般救助用器具	かぎ付きはしご	4	2	1	1	4	2	
	三連はしご	4	1	2	2	4	1	2	1	15
	金属製折りたたみはしご又はワイヤーはしご	2	2			2	2			4
	空気式救助マット	2	2			1	1			3
	救命索発射銃	1	1			1	1			2
	サーバイバーリング又は救助用縛帯	2	2	5	3	3	3	2	2	17
	平担架	2	2	1		2	1			5
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1	1			3	3			4
	可搬ウインチ	5	2	1	1	4	2	1		12
	マンホール救助器具	2	2			1	1			3
	マット型空気ジャッキ	1	1			1	1			2
	大型油圧スプレッター	1	1			1	1			2
	救助用支柱器具	1	1			1	1			2
切断用器具	エンジンカッター	4	2	1	1	4	2	1	1	12
	ガス溶断機	1	1			1	1			2
	チェーンソー	2	1	2	1	3	1	1	1	10
	鉄線カッター	14	6	4	3	8	4	2	1	32
	空気鋸	1	1			1	1			2
	大型油圧切断機	3	3			3	3			6
破壊用器具	万能斧	8	3	3	3	9	3	4	2	29
	ハンマー	2	2	1		6	1	1	1	11
	携帯コンクリート用破壊器具	2	1		1	1	1	1	1	6
	削岩機	1	1			1	1			2
	ハンマードリル	1	1			2	2			3
測定用器具	複合型ガス測定器	5	2	1	1	2	1	1	1	11
	有毒ガス検知管	2	1	1	1	2	1	1	1	8
	酸素濃度測定器	0	0			0	0			0
	放射線測定器	4	4		1	2	2	1	1	9
山岳	バスケット型担架	2	2	1	1	4	2	1	1	10
検索	簡易画像探索機	1	1			1	1			2

分類	資機材	所属別		東消防署	救助隊	原市分署	上平分署	西消防署	救助隊	大谷分署	平方分署	合計
呼吸保護用器具	空気呼吸器			18	6	7	7	13	7	8	5	58
	酸素呼吸器			5	5			5	5			10
	簡易呼吸器			2	2			2	2			4
	防塵マスク			26	26			18	18			44
	送排風機			3	3			2	2			5
隊員保護用器具	耐電手袋			10	7	1	1	5	5	1	1	19
	耐電衣			5	5			5	5			10
	耐電ズボン			5	5			5	5			10
	耐電長靴			5	5	1	1	5	5	1	1	14
	防塵メガネ			35	35	5	5	10	10	8	10	73
	携帯警報機			18	6	8	7	13	7	8	4	58
	防毒マスク			10	10			20	20			30
	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)			34	14	2	2	33	13	2	2	75
	陽圧式化学防護服			5	5			5	5			10
	耐熱服			5	5						2	7
放射線防護服			5	5			2	2			7	
除染	除染シャワー			2	2			1	1			3
	除染剤散布器			2	2			2	2		2	6
水難救助用器具	救命胴衣			20	20	9	5	28	28	4	19	85
	救命浮環			5	5	2	1	5	5	1	2	16
	浮標			1	1			2	2		3	6
	救命ボート							2	2		1	3
	船外機							3	3		1	4
命高器救	地中音響探知機			1	1							1
	熱画像直視装置			2	1			1	1		1	4
その他の救助用器具	投光器			6	3	2	2	5	3	2	1	18
	携帯投光器			9	5	3	2	4	3	2	1	21
	携帯拡声器			11	6	4	3	5	2	2	3	28
	携帯無線機			10	3	5	5	7	2	4	3	34
	応急処置セット			3	1	2	2	3	1	2	1	13
	車両用移動器具			1	1			1	1			2
	緩降機			2	2			2	2			4
	ロープ登降機			5	5			1	1			6
	発電機			12	5	3	2	12	4	3	2	34

緊急消防援助隊

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災を教訓に、全国の消防機関による応援を速やかに実施するため、平成7年度に創設され、国内で大規模災害が発生した際には、消防庁長官の要請等により直ちに応援に出動します。

当消防本部の登録状況は、消火小隊4隊、救助小隊1隊、救急小隊2隊、特殊装備小隊1隊、後方支援小隊1隊、計9隊32人を緊急消防援助隊として登録しています。

平成31年度には埼玉県土砂・風水害機動支援部隊が新たに編成され、救助小隊と特殊装備小隊が部隊編成されました。



特殊装備小隊
東消防署 重機／搬送車

○ 緊急消防援助隊登録小隊

小 隊	所 属	車 両
消火小隊	東消防署 上平分署	ポンプ車
	東消防署 原市分署	ポンプ車
	西消防署 大谷分署	タンク車
	西消防署	ポンプ車
救助小隊	西消防署	救助工作車
救急小隊	西消防署 平方分署	救急車
救急小隊	西消防署 大谷分署	救急車
特殊装備小隊	東消防署	重機／搬送車
後方支援小隊	西消防署	資機材搬送車



西消防署大谷分署タンク車

○ 緊急消防援助隊活動実績

1 平成16年7月新潟・福島豪雨災害

平成16年7月13日に発生した「新潟・福島豪雨災害」では、14日・15日の2日間、消火小隊1隊4名、救急小隊1隊3名の計2隊7名を新潟県に派遣し、三条市内の冠水した住宅等に孤立する住民を救命ボートで救助しました。

2 平成16年新潟県中越地震

平成16年10月23日に発生した「新潟県中越地震」では、24日・25日の2日間、救急小隊1隊4名を新潟県に派遣し、小千谷市内で多くの傷病者を救急搬送しました。

3 平成23年東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）

平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」では、発生直後から消火小隊1隊5名を岩手県陸前高田市に派遣し、3月31日までに延べ5隊25名の職員が余震の続く中、生存者の検索活動を中心に支援を行いました。

また、福島第一原発事故では、3月26日から救急小隊1隊3名を福島県福島市・本宮市に派遣し、5月4日までに延べ7隊21名が福島第1原発20kmから30km圏内を中心に在宅介護の巡回診療の補助や救急搬送を行いました。

大規模災害対策資機材整備事業

分類	資機材	所属別		合計
		東消防署 (原市・上平分署を含む)	西消防署 (大谷・平方分署を含む)	
救護所設 営資機材	インバーター発電機(2kw～2.9kw)	3	3	6
	インバーター発電機(3kw～4.0kw)	1	1	2
	大型エアーテント	2	2	4
	折り畳み式テント	2	2	4
	簡易トイレ	2	3	5
	バルーン照明	0	1	1
	可搬クーラー	2	2	4
	大型扇風機	0	1	1
	ジェットヒーター	1	0	1
	石油ストーブ	4	3	7
	救護ベット	25	25	50
	救護毛布	78	33	111
	万能搬送具(二分割担架)	1	0	1
	固定用副子	29	18	47
	多機能型感染患者搬送袋	20	20	40
活動資機材	可搬式消防ポンプ	3	3	6
	仮設貯水槽	2	2	4
	リアカー(折畳式)	1	3	4
	のこぎり	15	15	30
	鉋(なた)	1	1	2
	つるはし	6	2	8
	ハンマー(大)	5	5	10
	かけや	1	3	4
	スコップ	46	47	93
	バール(大)	17	9	26
	万能斧	6	0	6



大型エアーテント



可搬式消防ポンプ

消防力の整備指針

\		基準台数 (台)	基準台数に対 する人員の基 準数(人)	現 有 台 数 (非常用を 除く) (台)	現有台数に対 する人員の基 準数(人)	現有人員数 (人)	
指揮隊員	指揮車	2	319	1	276	218	
消防隊員	消防ポンプ自動 車	11		11			
	化学消防車	1		1			
	特殊車等	10		10			
救急隊員	救急自動車	8		7			
救助隊員	救助工作車	2		2			
	はしご自動車	2		2			
小 計		36	319	34	276	218	
通信員		/	8	/	8	8	比率 (%) (現有人員数合計② /基準人員数合計① ×100)
予防要員			30		22	11	
庶務の処理等の人員			33		33	30	
小 計			71		63	49	
合 計		36	390	34	①339	②267	78.7

消防職員階級別状況

\ 階級		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
本 部	消 防 長	1								1
	次 長		1							1
	消防総務課			1	3	1	2		1	8
	総務課付				1	1	1			3
	予 防 課			1	3	2	5			11
	警 防 課			1	4	2			1	8
	指 令 課			1	7	1	1			10
小 計		1	1	4	18	7	9	2	42	
東 消 防 署	署 長		1							1
	管 理 課			1	3	1				5
	消防第一課			2	5	5	6	11		29
	消防第二課			2	5	6	7	9		29
	原市分署			2	8	3	6	9		28
	上平分署			2	7	3	8	8		28
小 計			1	9	28	18	27	37	120	
西 消 防 署	署 長		1							1
	消防第一課			2	4	3	7	7		23
	消防第二課			2	5	4	5	7		23
	大谷分署			2	9	5	12	8		36
	平方分署			2	7	3	6	4		22
小 計			1	8	25	15	30	26	105	
合 計		1	3	21	71	40	66	65	267	

年齢及び階級吏員数

年齢	人数															消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計(人)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14									
18歳																			3	3				
19歳																			5	5				
20歳																			4	4				
21歳																			2	2				
22歳																			4	4				
23歳																			10	10				
24歳																			8	8				
25歳																			9	9				
26歳																			9	9				
27歳																			4	4				
28歳																	5	4	9	9				
29歳																	3	3	6	6				
30歳																	10		10	10				
31歳																	5		5	5				
32歳																	6		6	6				
33歳																	8		8	8				
34歳																	5		5	5				
35歳																	4		4	4				
36歳																	4		4	4				
37歳																2	5		7	7				
38歳																3	5		8	8				
39歳																9	3		12	12				
40歳																2	1		3	3				
41歳																6	1		7	7				
42歳																4	1		5	5				
43歳																6			6	6				
44歳																5			5	5				
45歳																2	1		3	3				
46歳																6			6	6				
47歳																9	2		11	11				
48歳																8			8	8				
49歳																6			6	6				
50歳																5			5	5				
51歳																1	8		9	9				
52歳																9			9	9				
53歳																2	4		6	6				
54歳																4			4	4				
55歳																2	1		3	3				
56歳																2	5	2	9	9				
57歳																6	4		10	10				
58歳																2	1		3	3				
59歳																1	1	3	2	7	7			
合計	267名														1	3	21	71	40	66	0	65	267	
平均	平均年齢 39.0歳														59.0	57.0	56.3	50.6	41.3	33.4	0.0	23.8	39.0	

教育・訓練実施状況（過去5年間）

消防大学校

課程 \ 年度	H 2 9	H 3 0	H 3 1	R 2	R 3
幹部科	1	1	1	1	
救助科			1		
火災調査科					
違反是正特別講習会					
査察業務マネジメントコース		1		1	
危機管理・国民保護コース	1				
消防団活性化推進コース					
合 計	2	2	2	2	0

県消防学校

課程 \ 年度	H 2 9	H 3 0	H 3 1	R 2	R 3
初任教育	1 0	9	6	8	4
救急科	9	7	9	5	9
救助科	2	2	2	2	2
警防科	2	2	2	2	2
警防活動教育	2	2	2		2
予防査察科		2		2	
火災調査科	2		2		2
特殊災害科		2		2	
実火災訓練指導者教育		1			
実火災訓練教育			2	2	2
初級幹部科	1	1	1	1	1
実科指導員教育	1				
合 計	2 9	2 8	2 6	2 4	2 4

救急救命士

年度	H 2 9	H 3 0	H 3 1	R 2	R 3
救急救命士	2	2	2	2	1
指導救命士		1	2	1	1

年代別資格取得状況

資格		年代					合計
		10代	20代	30代	40代	50代	
自動車 運転免許	普通	6	65	69	60	65	265
	中型		17	21	39	34	111
	大型		27	51	56	39	173
車両系建設機械			2	13	17	9	41
小型船舶操縦				17	22	22	61
移動式クレーン			7	22	26	15	70
玉掛け			7	25	27	15	74
陸上特殊無線			57	66	52	56	231
特定化学物質等 作業主任者				7	7	20	34
第一種衛生管理			2	1	5	7	15

救急救命士認定資格

資格 区分	救急救命士	薬剤認定	気管挿管認定	ビデオ喉頭鏡 気管挿管認定	処置拡大認定
救急隊	43	42	24	20	42
救急隊以外	30	21	11	11	20

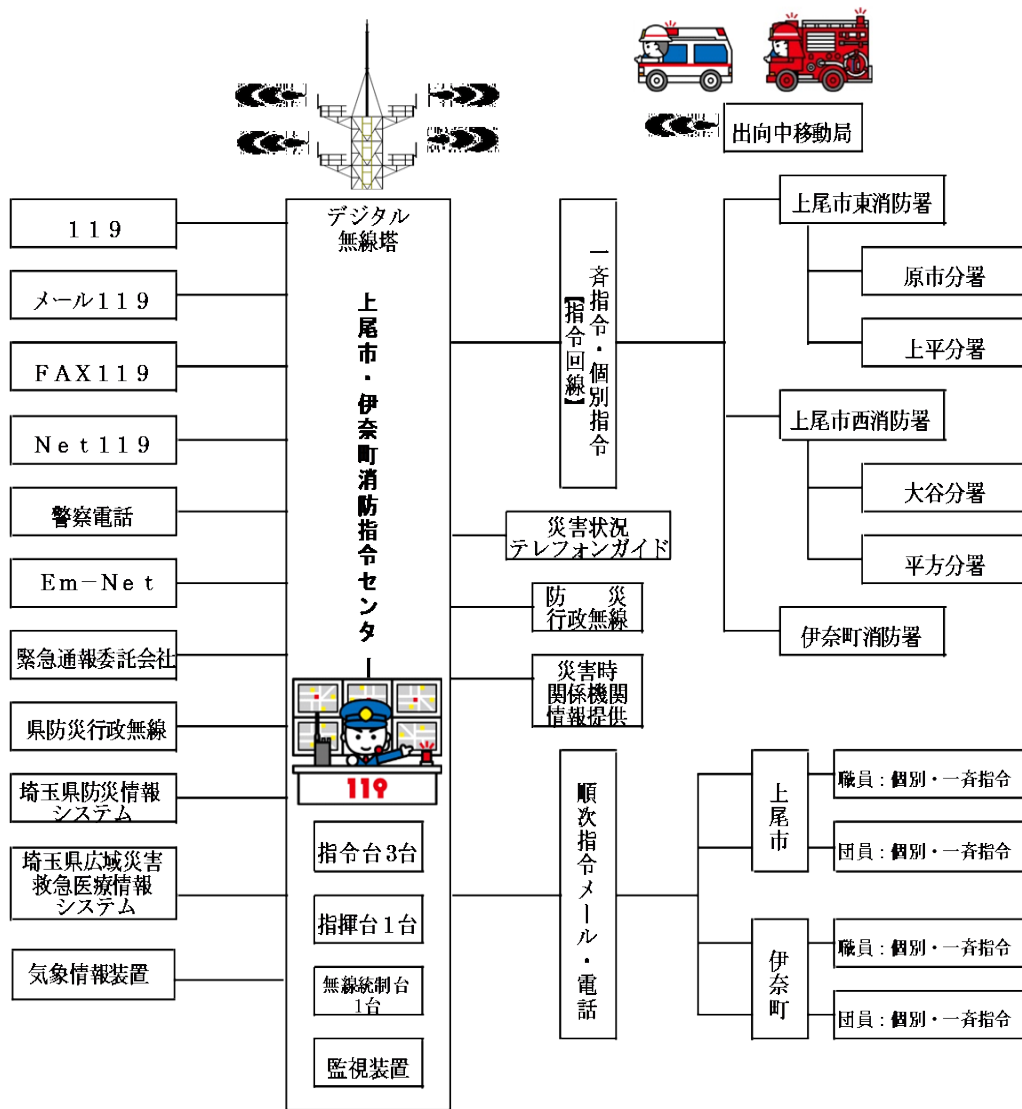
(令和4年4月1日現在)

上尾市・伊奈町消防指令センター

平成25年4月1日より、消防通信指令システムが構築され、伊奈町と共同運用が開始されました。指令システムは、コンピュータやGPS機能を活用して各車両の位置情報が把握できるため、初動体制の強化が図られ、災害による被害の軽減や救命率の向上につながるシステムです。

また、平成28年5月31日に既存のアナログ無線が廃止されるのに合わせて、消防救急デジタル無線化事業の整備を進め、平成28年6月1日から運用を開始しました。

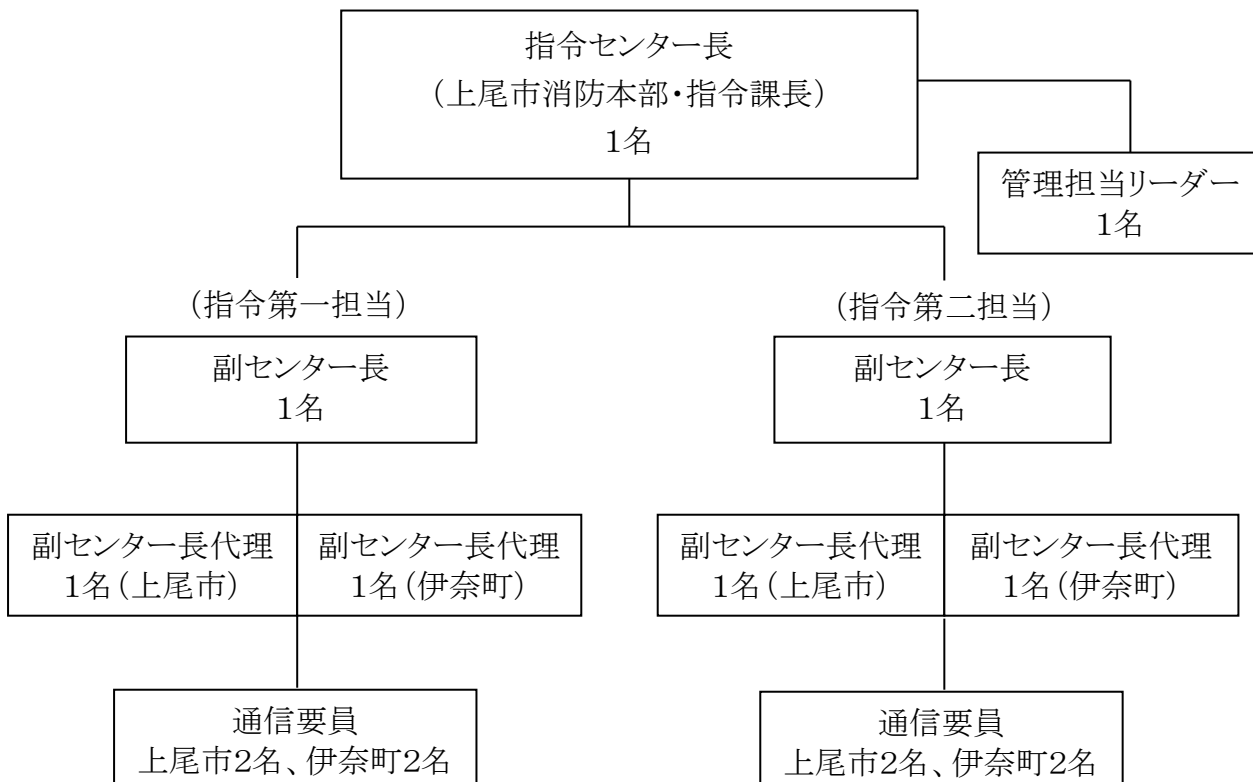
消防緊急指令システム系統図



<上尾市・伊奈町消防指令センター>



【組織図】



消 防 水 利

消防水利には消火栓、防火水槽、プールなどの人工水利と、河川、池、海などの自然水利に区別できますが、当市ではその大部分を人工水利で占めています。

消火栓は連続的に給水され簡便に使用できる利点がありますが、配管口径による給水量の制約、断・減水時の取水不能、さらに地震時には配管の破損が懸念されるなどの弱点も併せ持っています。こうした消火栓の持つ弱点をカバーするためにも、防火水槽などを地域の実情に応じて計画的に整備する必要があることから、積極的に消防水利の整備に努めるとともに、屋内・屋外に設けられるプールについても採水口の設置を要請するなど消防水利の確保に努めています。

また、震災時の非常用飲料水として、いつでも使用できる水道管接続式循環型防火水槽（容量 100 m³）を市内 3 ヲ所に設置しています。

地区別消防水利 （令和 4 年 4 月 1 日現在）

施 設		地 区						合 計	
		上 尾	平 方	原 市	大 石	上 平	大 谷		
総 計		1,016	255	530	865	558	549	3,773	
防 火 水 槽		469	78	209	309	189	190	1,444	
消 火 栓		539	173	315	551	365	352	2,295	
プ ー ル		8	4	6	5	4	7	34	
防 火 水 槽 内 訳	公 設	20 m ³ 級	54	26	37	60	47	45	269
		40 m ³ 級	27	9	24	38	18	16	132
		60 m ³ 級	3	0	1	0	0	1	5
		80 m ³ 級	0	1	0	0	0	0	1
		100 m ³ 級	5	1	0	4	2	2	14
		計	89	37	62	102	67	64	421
	私 設	20 m ³ 級	240	20	111	152	81	81	685
		40 m ³ 級	112	19	30	52	37	30	280
		60 m ³ 級	17	2	6	2	2	2	31
		80 m ³ 級	6	0	0	1	2	2	11
		100 m ³ 級	5	0	0	0	0	11	16
		計	380	41	147	207	122	126	1,023

飲料水兼用耐震性貯水槽(循環型)施設一覧

(令和4年4月1日現在)

No.	所在地	設置場所	容量
1	向山	ならの木公園	100 m ³
2	小泉	氷川山公園	100 m ³
3	菅谷	上平公園	100 m ³



消 防 音 楽 隊

消防音楽隊は、平成13年6月1日の発足以来、消防関係行事をはじめ市主催の各種行事に参加し、広く市民に接することで消防に対する理解を深めていただくとともに、防火・防災思想の普及啓発に努めています。

スローガン 「広げよう！市民と消防で奏でる火災予防のハーモニー」



令和2年1月6日
上尾市年頭式
場所 文化センター

1 組織編成（令和4年4月1日現在）

隊長	1人		
副隊長	2人		
隊員	22人		計25人

2 楽器編成

・フルート	2	・クラリネット	3	・アルトサクソ	4
・テナーサクソ	2	・バリトンサクソ	1	・トランペット	3
・フレンチホルン	1	・トロンボーン	3	・ユーホニウム	1
・チューバ	2	・パーカッション	3		

3 令和3年度の活動状況

- ・合奏練習 21回
- ・公演出場 コロナ禍により中止

防災体験コーナー

消防本部では、市民の方々に防災知識を身につけていただくため、防災体験コーナーを西消防署複合施設内に設置しています。この施設では、起震装置による地震体験や映像消火体験ができることをはじめ、防災DVDの視聴や防災用品の展示なども行っています。

所在地：上尾市西消防署複合施設内（上尾市中分1-232）

開館時間：午前9時00分～午前12時00分

午後1時00分～午後 5時00分

（地震体験コーナーの受付は午後4時45分まで）

休館日：年末年始（12/29～1/3）

利用料：無料

問合せ先：048-726-6013



地震体験コーナーでは、震度7までの体験や過去の地震体験（6種類）も出来ます。



映像消火装置による消火体験や、住宅用火災警報器の設置指導等も行っています。

令和3年度の利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
22	40	35	123	1	0	68	249	38	11	0	45	632

単位：人

※8月2日から9月30日及び1月21日から3月21日まで、新型コロナウイルス感染症に伴う「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」により一部又は全日休止となっています。